

新施設整備、77人受け入れ

春日井 県障害者コロニー再編

春日井市神屋町の複合福祉施設「県心身障害者コロニー」の再編計画で、県は八日、重知的障害のある入所者の移行先となる施設を地元社会福祉法人が同市高森台の県有地に整備すると発表した。二〇一六年度から段階的に開所し、受け皿が未定だった七十七人を受け入れる。

再編計画は、コロニーを県療育医療総合センター（仮称）に再整備する一方、〇七年度に全体で四百五十人いた入所者を一部の重度心身障害者を除き、在宅や各地域の施設に段階的に移すのが柱。施設中心から社会生活を重視するようになった障害者福祉政策の転換と老朽化を踏まえたも

新しい施設は、コロニー入所者の保護者を母体とする社会福祉法人「養楽福祉会」が高蔵寺ニュータウン内の県有地を借り受けて造る。

コロニーから移り住む障害者に対する支援施設のほか、短期入所

や就労継続支援、グループホーム事業にも取り組む。

大村秀章知事は記者会見で「再編計画が進み、地域の障害福祉サ

ービスも充実する」と意義を強調した。

（赤川肇）